

〔町指定・建造物〕  
**旧安部家住宅と  
 屋敷及び収蔵資料**



22

〔町指定・建造物〕  
**旧佐藤家  
 資料館及び  
 収蔵資料**

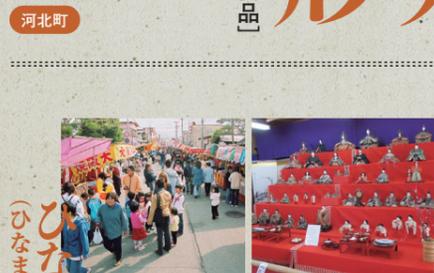
戸時代、紅花、青苧(あおそ)などを幅広く扱う商人(豪農)として活躍した佐藤清五郎家の屋敷。享保雛や古今雛、紅花染め衣装などが残っています。「染めと織り」の繊維に関する資料も展示しています。



24

〔町指定・工芸品〕  
**からくり  
 人形**

上方との紅花交易によってもたらされた華やかな雛人形の一つです。からくり人形はぜんまいの取手を回すと台上の人形が舞や演奏の仕草を始めます。本品は楽人が大太鼓を打ち鳴らし、回転する仕掛けです。毎年月遅れの4月の谷地ひなまつりで一般公開されます。



〔ひなまつり市〕

山形市 寒河江市 天童市 尾花沢市 山辺町 中山町 河北町 大石田町

30

〔市指定・無形〕  
**尾花沢雅楽**

戸時代、紅花生産者(豪農)として活躍した柏倉家の屋敷。主屋、長屋門はじめ附属屋、土蔵などの屋敷構え。仏蔵には東本願寺を縮図にしたという仏間があり、座敷蔵には上方由来の雛人形をはじめ、数多くの調度品が残っています。



〔町指定・工芸品〕  
**享保内裏雛**

地に伝わる華やかな雛人形の一つです。本品は座高86.5cmと大ぶり、顔の胡粉磨きや眉目の描きぶりが実に見事です。紅花で染えられた商家と上方との結び付きを示す資料としても、高い価値があります。



〔国重文・建造物〕  
**旧柏倉家住宅及び  
 収蔵資料**

戸時代、紅花生産者(豪農)として活躍した安部家の屋敷。火番小屋と黒塀に囲まれ、天保15年(1844年)建築の主屋をはじめ、座敷蔵、新座敷が建築当時のままで伝わっており、民具、美術品、古文書なども保存されています。

山形市 寒河江市 天童市 尾花沢市 山辺町 中山町 河北町 大石田町

〔町指定・工芸品〕  
**次郎左衛門置上げ立雛**

上方との紅花交易によってもたらされた華やかな雛人形の一つです。本品は幼児をかたどった胡粉仕上げの人形で紅花染めの衣装をまとい、三頭身のあどけない顔つきの中に気品が漂います。毎年月遅れの4月の谷地ひなまつりで一般公開されます。

〔町指定・工芸品〕  
**御所人形**

上方との紅花交易によってもたらされた華やかな雛人形の一つです。本品は幼児をかたどった胡粉仕上げの人形で紅花染めの衣装をまとい、三頭身のあどけない顔つきの中に気品が漂います。毎年月遅れの4月の谷地ひなまつりで一般公開されます。



〔国無形民俗〕  
**舞林家**

寺(宝珠山立石寺)建立とともに上方より伝えられた舞楽。谷地八幡宮神職林家により一子相伝で1100余年にわたり伝承されています。9月の谷地八幡宮例大祭(谷地どんがまつり)において、厳かに奉奏されます。紅花染めの衣装が用いられます。

山形市 寒河江市 天童市 尾花沢市 山辺町 中山町 河北町 大石田町



〔市指定・無形〕  
**尾花沢  
 まつり囃子**

笠まつりの初日(毎年8月27日)に行われる諏訪神社祭。その祭り囃子は紅花交易が盛んだった頃、最上川舟運を介してもたらされた宮廷の流れをくむ組曲。尾花沢の鎮守諏訪神社の遷宮式祭礼の一つとして奉納されています。



〔国重文・建造物〕  
**本山慈恩寺本堂**

恩寺の本堂は弥勒堂(みろくどう)ともいい、山形城主最上氏による再建から400年を経て、桃山時代の様式や重厚な茅葺(かやぶき)屋根を今に伝えています。外陣天井には竜や天女が描かれ、本尊弥勒尊(ほんぞんみろくそん)ほか秘仏33体が内陣の宮殿に安置されています。本尊弥勒尊の唇は、紅をさしたかのように鮮やかな朱が塗られ、精気にあふれています。本尊弥勒尊と脇侍の釈迦(しゃか)・地藏・不動・降三世(こうさんぜ)の五仏構成は国内では例がなく、胎内納入の印仏には、鎌倉期のおびたしい寄進者が記されています。

〔国重文・彫刻〕  
**木造弥勒菩薩及び諸尊像  
 附弥勒菩薩像内納入品**



〔市指定・無形〕  
**おみづけ**

戸時代、当地に移り住んだ近江商人は堰に流れる野菜くずも無駄にせず、青菜、大根葉、かぶの葉を細かく刻んで、合わせて塩漬けにしたのが始まりとされています。「近江漬(おうみづけ)」がなまって「おみづけ(おみづけ)」となったといわれます。

山形市 寒河江市 天童市 尾花沢市 山辺町 中山町 河北町 大石田町 白鷹町



〔市指定・無形〕  
**尾花沢雅楽**

〔町指定・無形〕  
**谷地八幡宮**

治5年(1091年)、源八幡太郎義家創建と伝えられる大社。毎年9月、紅花染めの衣装を身にまとった楽人が舞う林家舞楽が奉納されます。神輿還御(みこしかんぎょ)や奴行列(やつこぎょれつ)、囃子屋台(はやしやたい)の巡演などが行われる秋の例大祭「谷地どんが祭り」は地方随一を誇ります。



〔町指定・無形〕  
**おみづけ**

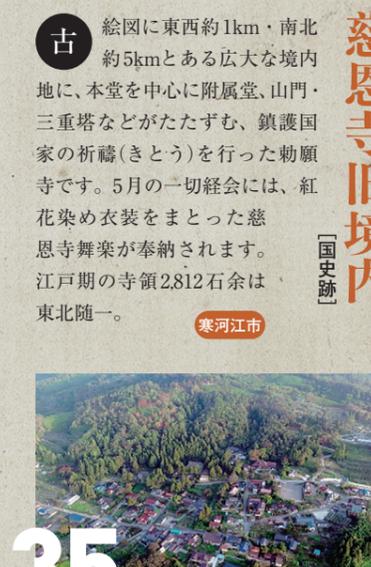
山形市 寒河江市 天童市 尾花沢市 山辺町 中山町 河北町 大石田町 白鷹町

〔市指定・無形〕  
**尾花沢雅楽**

戸時代、紅花交易が盛んだった頃、最上川舟運を介してもたらされた宮廷の風雅な調べが念通寺を中心に伝承されています。尾花沢の鈴木久衛門家に与えられた雅楽88曲、伝授された免許状が今も残っています。

〔国史跡〕  
**慈恩寺旧境内**

絵図に東西約1km・南北約5kmとある広大な境内地に、本堂を中心に附属堂、山門・三重塔などがたたずむ、鎮護国家の祈禱(きとう)を行った勅願寺です。5月の一切経会には、紅花染め衣装をまとった慈恩寺舞楽が奉納されます。江戸期の寺領2,812石余は東北随一。



〔町指定・無形〕  
**芋煮**

戸時代、紅花を運んだ最上川の船頭が、地元の里芋と帰りの棒鮒を河原で煮て食べたことが発祥と伝わる当地の郷土料理。河原で食す「芋煮会」は山形の秋の風物詩。現在の牛肉スタイルになったのは明治の初期とのことです。

山形市 寒河江市 天童市 尾花沢市 山辺町 中山町 河北町 大石田町 白鷹町



山形市 寒河江市 天童市 尾花沢市 山辺町 中山町 河北町 大石田町 白鷹町